

前田曙山 しやうざん 小説家、園藝家。明治四年十一月二十一日東京生れ、
 昭和十六年二月八日歿（八七—一九四）。本名次郎。筆名しよ山、曙山
 人。日本英學館等へ學ぶ。兄前田大郎（香縁情史）は硯友社同人。明
 治二十四年尾崎紅葉等の雑誌『千紫萬紅』に處女作發表。中途園藝關
 係の著述、雑誌發刊等園藝家として活動し、のちいふ大衆小説で人氣を
 得る。

著書『くぐり水』（明治二十二年十月十三日春陽堂）、『腕くらべ』
 （明治二十二年十一月十六日春陽堂）、『檜舞臺』（明治二十四年五月
 二十七日春陽堂）、『茶碗酒』（明治二十六年一月一日春陽堂）、『矢
 口渡』（明治二十六年五月九日 松川堂書店 たりみや書房）、『園藝文庫』（第壹
 卷・明治二十六年七月二十三日、第四卷・十月二十五日、第五卷・十
 一月二十六日、第六卷・十一月二十四日、第七卷・二十七年一月二十
 九日、第八卷・二月十一日、第九卷・六月二日、第十卷・七月十六日、
 第十一卷・九月二十八日、第十二卷・二十八年一月十三日春陽堂）、
 磯川九華著『花間笑話』（本名、筑、明治二十六年十月十日春陽堂
 『園藝文庫』別巻）、『花魂』（明治四十一年二月五日春陽堂）、『花
 卉應用裝飾法』（明治四十四年四月八
 日博文館）、『曙山園藝』（明治四十
 四年五月八日聚精堂）、採集 栽培 趣味の
 『野草』（大正七年四月十五日實業之友
 本社）、『慕ひ行く影』（再版・大正
 十二年六月二十日春秋社『傳奇小説文
 庫』）、『凌陽の誇』（昭和二年十一月



月三頁獨立圖書房）、「勤王雪子の御方」おんかた（須藤しげる畫、昭和九年

二月一日大日本雄辯會講談社『少女俱樂部』二月號附録）等。

